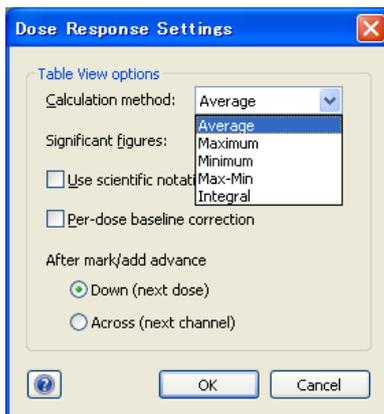


# Dose Response モジュール操作方法

## < Dose Response 全体の流れ >

1. 全体の基本設定
2. ドースレスポンスコメントを Chart View に追加  
\*コメントをドースレスポンスコメントに変換
3. レスポンスの読込
4. Analysis View、Result View の閲覧

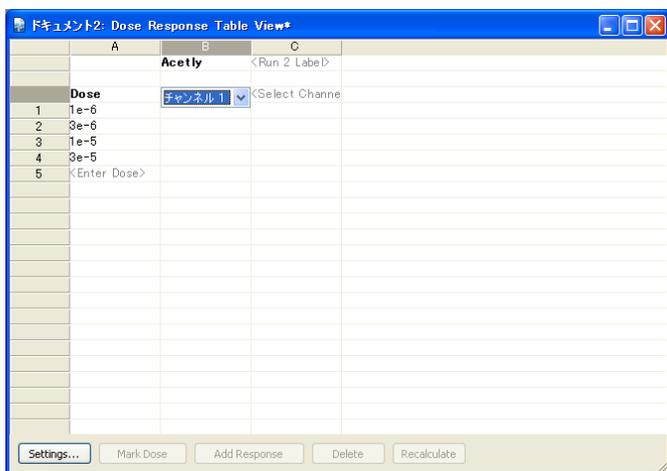
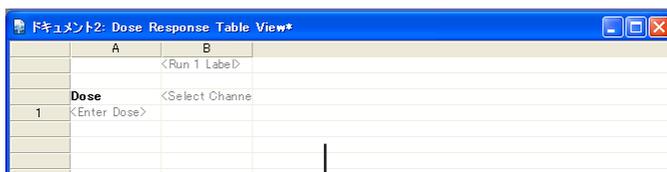
## 1. 全体の基本設定



1. Calculation method で、レスポンスの読込対象を決めます。
2. 指数表記を望む場合、Use scientific notation を選択します。
3. ドーズごとにベースを変える場合には、Per-dose baseline Correction を選択します。

## 2. ドースレスポンスコメントの追加

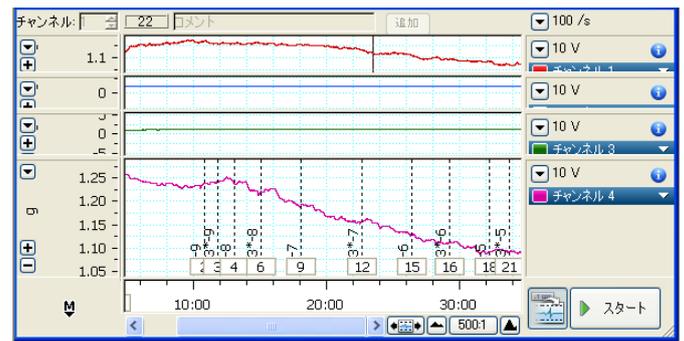
1. Table View を開き、A列で用量を入力し、B列以降に薬品名を入力し、対応するチャンネルを選択して下さい。



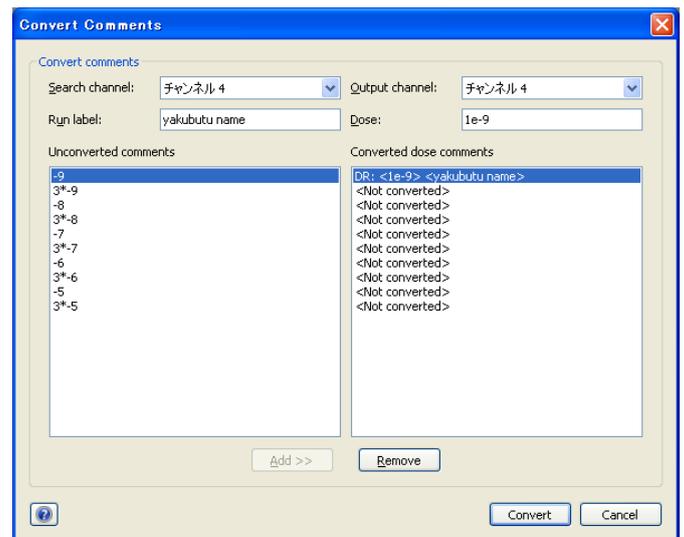
2. 測定を開始し、薬品を加えた時点で、Mark Dose をクリックして下さい。Chart View にその用量に対応したドースレスポンスコメントが追加されます。

## \*コメントをドースレスポンスコメントに変換

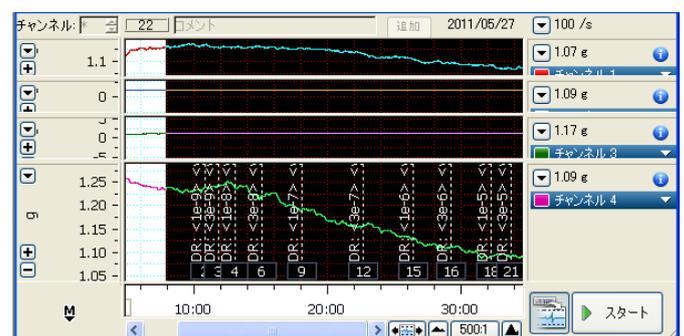
薬品を追加した時点の、通常の LabChart コメントを、モジュールで解析を行うためのドースレスポンスコメントに変換することができます。



1. 解析するコメントを含む Chart View 上のデータを選択。
2. Dose Response > Convert Comments を選択。



3. 解析するコメントを含むチャンネルを選択。  
→「Unconverted comments」欄内の一番上のコメントを選択。  
→「Run label」欄に薬物名などを入力。  
→「Dose」欄に投与したドース入力。  
⇒以上の作業を「Unconverted comments」内の全てのコメントに対して行い、「Convert」をクリック。



すると、対応するコメントが Dose Response が解析できるようなコメントに変換され、Table View に以下のように表示されます。

	A	B	C
		yakubutu nam	<Run 2 Label>
	Dose	チャンネル 4	<Select Channel>
1	1e-9	(marked)	
2	3e-9	(marked)	
3	1e-8	(marked)	
4	3e-8	(marked)	
5	1e-7	(marked)	
6	3e-7	(marked)	
7	1e-6	(marked)	
8	3e-6	(marked)	
9	1e-5	(marked)	
10	3e-5	(marked)	
11	<Enter Dose>		

注：

挿入するコメントを予め

「薬物名」(半角スペース)「ドース」

の形で入力しておきますと、Convert Comments で自動的に認識されます。

「ドース」は、半角数字で表記して下さい。また、指数表記を行う場合は、「1e-9」のように表記して下さい。1 の場合も「e」ではなく、「1e」と表記して下さい。

### 3. レスポンスの読込

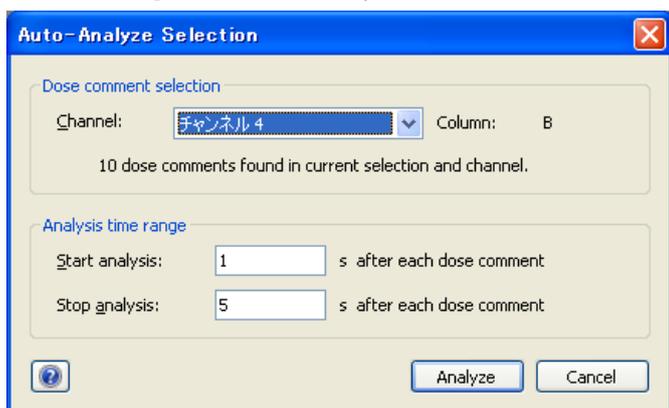
次に、各ドースに対するレスポンス(応答)を読み込ませます。これには、手動と自動の二種類の方法があります。

#### ●手動

1. 各コメントに対して、レスポンスとして読み込みたい範囲を選択。
2. 「Add response」を選択。  
→ Table View 上の対応するカラムに値が書き込まれます。  
⇒以上の作業を全てのコメントに対して行って下さい。

#### ●自動

1. 解析するコメントを全て含むように、Chart View 上で選択。
2. Dose Response > Auto-Analyze section を選択。



#### 3. 解析するチャンネルを選択

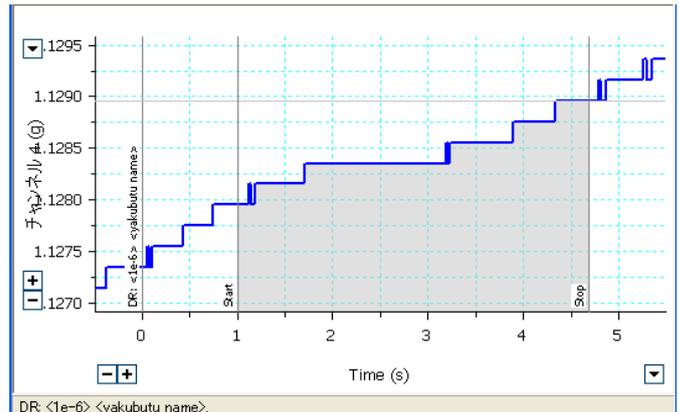
→レスポンスを読み込む範囲を、各ドースからの時間として設定。

→「Analyze」をクリックすると、Table View にレスポンスの数値が書き込まれます。

## 4. AnalysisView・Result View

### < Analysis View >

Table View 上で、レスポンスのカラムをクリックすると、それに対応する波形が表示されます。



Analysis View 内の Start ライン、Stop ラインをドラッグすることで、レスポンスの読み込み範囲を変更することができ、その変更は、自動的に、Table View に反映されます。

### < Result View >

解析結果が表示されます。この内容を出力する場合には、View で右クリック、コピーするか、編集>コピーで、図としてコピーするか、パラメータ情報をコピーするかを選択。DoseResponse > Export では、Result View の解析結果は出力されないのをご注意して下さい。